

(共有コード No. ob3JxWBrzSc7VZmFqxXbGvN)

## 授業の詳細がわかる『授業デザイン案』（中学3年生国語）

### ～ジグソー学習を通して文語定型詩「初恋」を読み解く実践～

#### 1 単元名

「初恋」島崎藤村（東京書籍「新しい国語3」）

#### 2 単元の指導目標

根拠を明確にし、自分の考えを伝えることができる生徒の育成

～ジグソー学習によって考えを深め、ICTでわかりやすくプレゼンをする～

#### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
詩の構成や展開の仕方を、文章の種類を踏まえて捉えることができる。	学習したことを生かして、リズムを感じ取り、朗読することができる。	粘り強く自分の考えをまとめ、今までの学習を生かして議論しようとしている。

#### 4 本単元の POINT

本単元は、文語による古風で格調高い文体であり、七五調の優しく優雅な響きがある。「初恋」に描かれている内容は、少年少女の初々しく清らかな恋の様子であり、現代の中学生にも共感しやすいものになっている。

全員が能動的に考え、全体で課題解決に向かう方法として、課題の役割分担とジグソー学習を考えた。これにより、一対一または少人数で意見を比べたり深めたりすることができるかと予想する。生徒は、「初恋」というイメージから勝手な解釈をしてしまい「初恋は実らなかった」と回答するグループが多いと予想している。個人で口語訳をし、その解釈を生徒同士で確かめたり深めたりすることを通して、根拠をもって内容把握をしていくよう助言していく。授業後半のグループの意見発表を、全体へわかりやすく伝えるためにICTを使う。オクリンカードの色別した数枚のカードを提示しプレゼンすることで、発表者にも聞く生徒にもわかりやすい資料になる。これまでに実施したICTを使った発表の経験を活かせるようにしたい。

#### 5 単元（全2時間扱い）

(1) 本時（第1時）までの学習記録

※第1時のため事前の学習記録はなし

(2) 本時について

●本時

第1時

●目標

根拠を示しながら討論することで、口語訳について確かめたり深めたりすることができる。

●本時の学習計画

・詩を音読し、連、詩の形式、韻律を確認する。

- ・ジグソー学習、グループ活動により大意を把握する。
- ・課題の答え合わせをする。

●本時の評価規準

- ・読むことにおいて、詩の構成や展開の仕方を、文章の種類を踏まえて捉えている。
- ・進んで詩の表現の特徴を捉え、課題に沿って討論している。

(3) 本時後の学習計画

- 第2時 ・「NHK for school」やデジタル教科書、古語辞典を用いて、学習のまとめをする。
- ・七五調のリズムを感じ取り、朗読する。

6 本時（全2時間中の1時間目）

(1) 本時の目標

根拠を示しながら討論することで、口語訳について確かめたり深めたりすることができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動 T：教師 C：生徒	○指導上の留意点 ★評価	ミライシード活用 POINT
導入 (5分)	○生徒自身の「初恋」についてアンケートを行う。	○アンケート結果の公開はデリケートな質問であるので市名は非表示とする。また、回答も強制しない。 ・生徒と島崎藤村の初恋の違いに、後に気づかせる。 ・生徒のタブレット操作を確認、助言する。	※PDCA サイクルのアンケート機能を使う。

展開 (35分)	<p>○詩を音読する。 ・連、詩の形式、韻律を確認する。</p> <p>○本時の課題を確認する。</p>	<p>・デジタル教科書を使用する。</p> <p>・既習事項を確認する。</p> <p>・詩の形式や韻律に正解できている生徒には発表を促したり、ノートに丸を付けたりする。正解が出ない生徒には文語、口語、自由詩、定型詩の確認をする。</p>																					
	<p>【めあて】藤村の「初恋」は実ったか、実らなかったか読み取ろう。</p>																						
	<p>○各連の解釈（口語訳）を、個人→ジグソー学習で考えていく。</p> <p>グループに戻り、詩全体の意味を確認し課題の答えを考える。</p> <p>① グループで一人一つの連の意味について考える。(5分)</p> <p>② 同じ連を担当する友達と自由に交流し確かめ合う。(8分)</p> <p>③ グループに戻り、意味の流れを確認する。(10分)</p> <p>④ 課題の答えを話し合う。(7分) 課題の答えカードに、根拠を記入する。</p>	<p>○オクリンクで、口語訳カード（連によって色別）を作成することを説明する。</p> <p>・Web 検索や古語辞典は使わず、自分の考え、学び合いで解釈するよう説明する。</p> <p>・カードはMY ボードに置いておく。</p> <p>・全員の担当する連、班長を挙手で確認する。</p> <p>・各連の意味を、グループの班長に送り共有し、詩全体の意味を考えるよう助言する。</p> <p>※電子黒板でタイムキーパーをする。</p> <p>※途中でも時間で切る。</p> <p>※机間指導をし、一人になってしまっている生徒が学び合いできるようにする。</p>	<p>○共有したカード</p> <div style="background-color: #FF69B4; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">初恋は実った</div> <div style="background-color: #40E0D0; padding: 5px;">初恋は実らなかった</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;">                 第一連 名前  <table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> </div> <div style="background-color: #FFFF00; padding: 5px; margin-top: 10px;">                 第二連 名前  <table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> </div>																				
<p>○課題に対する答えをオクリンクで提出し、提示しながらその根拠を発表する。</p> <p>・さまざまな意見を知ること、考えを深める。</p>	<p>○課題の答え「実った（ピンク）」「実らなかった（ブルー）」のカードを先頭に、第一連～第四連の口語訳カードを、5枚繋げて班の代表が提出BOX1に提出し、全体で</p>																						

		<p>共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>途中で考えが変わった時は、授業の最後に意見を変えてもよいことを伝える。</li> <li>うまく現代語訳できなかった箇所は、グループの話し合いで予想を立ててみるよう助言する。</li> </ul>	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; border: 1px solid #ccc;"> <p>第三連 名前</p> </div> <div style="background-color: #f08080; padding: 5px; border: 1px solid #ccc; margin-top: 10px;"> <p>第四連 名前</p> </div>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○課題の答えを提示する。本時の振り返りをカードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りカードを提出BOX2に送る。</li> <li>考えが変わった場合、どの活動によって考えが変わったか振り返りカードに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時に、口語訳と内容のまとめをすることを伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ジグソー学習やグループ学習で詩の解釈に取り組み、学習課題に沿って考えたことについて討論することができる。 (主体的に学習に取り組む態度、観察・カード)</p> </div>	

(3)授業評価の観点（事後検討会の議題例）

- ・ 詩の内容を読み取るために設定した『初恋が実ったか、実らなかったか』という課題設定が有効だったか。
- ・ グループ活動の中に取り入れたジグソー学習を通して詩全体の理解が深められていたか。